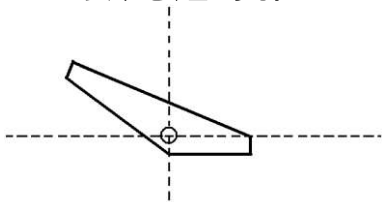
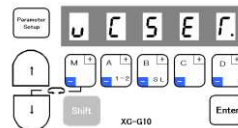


18. エラー表示”MA”が表示されたとき……機能設定 [VCSET] (レバーユニットの位置データを調整したいとき)

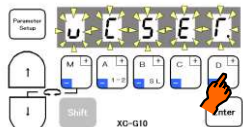
① ペダル（レバーユニット）を中立にする。



② **プログラムモード [Q] の [VCSET] を呼び出す。**
(モード呼び出しでも直接番号呼び出しでも可能。(直接呼び出し番号=「1427」) P. 17~20 参照)

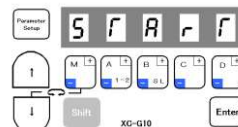


③



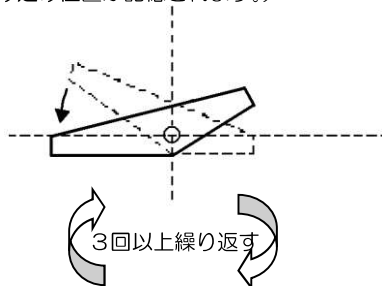
* [D] キーを押し続けると [VCSET] が点滅する。

④

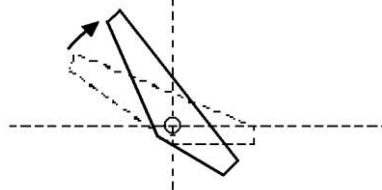


* 表示が [START] になる。
(この時点で中立位置が記憶されます。)

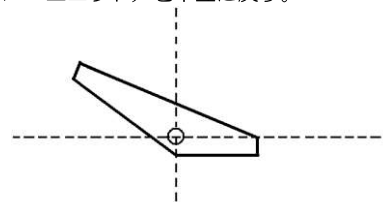
⑤ ペダル（レバーユニット）を最大に踏み込む。
(最大踏み込み位置が記憶されます。)



ペダル（レバーユニット）を最大にけり返す。
(最大けり返し位置が記憶されます。)



⑥ ペダル（レバーユニット）を中立に戻す。



通常モードにする
モード呼び出しの場合 : [↓] + [↑]
直接番号呼び出しの場合 : **Enter** で確定後 **Parameter Setup**

説明

レバーユニットの中立、踏み込み、けり返し位置の調整ができます。
ペダルを中立にした状態で [D] キーを押し続けると表示が点滅し [START] の表示に変わります。
(その時点で中立位置が記憶されます。)
その後、ペダルの踏み込み動作、蹴り返し動作を **3回以上** 繰り返します。(この時、最大踏み込み位置と最大けり返し位置が記憶されます。)
最後に必ずペダルを中立の状態に戻してから通常モードに戻します。

ご注意

- モード呼び出しで [VCSET] の状態に入り、通常モードに戻すには、[↓] キーを押しながら [↑] キーを同時に押します。この場合、レバーユニットの中立、踏み込み、けり返し位置の調整は行なわれません。
- レバーユニットの位置データ不良時、エラー表示”MA” (※1)が表示されます。
MA表示を解除(※2)し、ペダル（レバーユニット）の中立位置を確認後、上記の操作により、中立・踏み込み・けり返し位置の再記憶を行ってください。

(※1)エラー表示“MA”は、下記の場合に表示されます。

- レバー中立点がずれた時
- 可変速ペダルからオリジナルのレバーユニットに戻した時 など

(※2)エラー表示“MA”の解除方法

- レバーを中立に戻した後、1秒後に解除
- 操作箱の [D] キーを押して解除